

# Fontaine

発行日 2017年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10  
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

## 徒然に想うこと

アートディレクター 川崎 祥恭



この原稿（文化？）を依頼された時“パツ”と思ひ浮かんだのが、モロッコでの出来事でした。

37～8年前の事です。仕事でヨーロッパやアフリカを回りモロッコに立ち寄った事があります。アルジェリアとの国境付近、フェズから200km程東へ行ったウジタという町の近くだったと思います。砂漠と草原が続く山裾でヴェトミン（遊牧民）の少年と出会い、仕事仲間で言語学者の助けを借り色々話し合いました。その時のことです。

家の造りや生活、信仰や神々の話、色々な話を聞きましたがその中に星の話があり、その話に驚かされました。

ボンチョのような服を着た少年は目をキラキラ輝かせ、ギリシャ神話によく似た空のロマンやそれに伴う神々の話、美しくて壮大な人間味あふれた楽しい話に私たちは聞き入りました。余談ですが、こんな可愛い話も聞きました。悪いことをするときには神様が雲に隠れた時で、現れたら“ペロツ”と舌を出しながら頭をかいて反省するらしいです。驚いたことはその大きな世界観と美しく楽しい夢とロマンでした。又、今でもその夢とロマンを持ちながら大きな世界観の中で、神々に抱かれ生活していることです。ずっと昔から繋がっているのです。この出来事は、私にとって大きな衝撃でした。

当時美大を卒業し、テレビや舞台・内装と、いわば夢や世界観を売る仕事に従事していました。街では一杯30円のコーヒー店から、和洋風やモダン風と近代的な街にかわりつつある時代です。私達（私世代）がこの都会を造り変えて来たという自負をも持っていました。その驕り

が音をたてて崩れていきました。

私たちは夢や世界観を売るところか、借り物やレプリカを使ってちょっとしたムードを提供したにすぎません。色々な文化に憧れていて何々風といったものを紹介しただけなのです。ファッションでもメキシカンカラーからサイケまでと色々ありました。また日本はヨーロッパ等と違いコストや量産を重視した横割りの経済です。目新しさや斬新さ等で進んで行く社会でした。

その流れに“なぜ”“どうして”と云ったような歴史や物のロケーション等を考える余地や時間もなかったのです。

ヨーロッパの町々には、落ち着いた歴史やロマンを感じさせる所が多くあります。日本にも京都や奈良のような古い町はそれを感じます。また、刀剣や陶芸のような工芸の世界でも同じで、昔から続いている仕来りや伝統があり、歴史や夢を感じます。

私世代が造って来た都会にはそれがなく、ズタズタに切られた偽りで虚の空間があるだけで地に足が着いていません。このような空間で育つ子供らはただ迷うだけで、物と物の繋がりを考えようともせず、歴史やロマンもなく、空想の世界で遊ぶ事も出来ないで、ゲームのような与えられた空間でしか遊べません。

この歪な空間から脱皮しゆっくりと時がながれ、歴史やロマンを感じ人々の生活の流れが見え、物と物との繋がりが見えて来るような世の中になってくると“文化”という得体の知れない物が身近に考えられるようになるのではないのでしょうか？

# 岸和田文化事業協会

平成29年度

## 定時総会を開催



6月3日（土）岸和田文化事業協会平成29年度定時総会を開催しました。

来賓として、信貴芳則岸和田市長、高田昌<sup>ただし</sup>大阪文化団体連合会運営委員長兼事務局長、津村昭人岸和田市魅力創造部長、赤井優世岸和田市魅力創造部理事兼文化国際課長、木下善史岸和田市立浪切ホール館長の各氏を来賓にお迎えし、会員の出席は48名にて実施いたしました。

信貴市長は祝辞で「文化事業協会は指定管理者として自泉会館の管理に努めるとともに、文化活動に力を入れてくださり感謝しています。どうか今後とも文化の担い手として活動を続けてください」と述べられました。

また、高田昌様からは「事業協会の活動は大変なことにも挑戦され敬服し

ています。今後も活動を続けてください」との言葉をいただきました。

議事に移り、議長に行龍男氏を選出。平成28年度事業報告、同決算報告、監査報告、また平成29年度事業計画（案）同予算（案）を検討し承認されました。続いて今年役員改選の年に当たるため、昨年11月に役員選考委員会を設置、その結果が齊藤憲子委員長から報告され、理事全員が承認されました。

その後理事の互選により会長、副会長、理事の所属部会及び部会長の選任を行い（別表のとおり）総会の席で報告、西念新会長から挨拶があり全ての案件が承認されて総会は無事終了しました。

総会終了後、会員によるクラシックコンサートが行われ、出席者はおおいに楽しみました。



## 会長就任のごあいさつ

岸和田文化事業協会 会長

西念 秋夫



私が、岸和田文化事業協会に入会するようになったきっかけは、現顧問の伊藤伸史氏にお会いしたことが始まりで、平成15年より理事として活動してきました。

市民目線の運営を目指し、長きにわたり岸和田市の文化活動を推進されてきた前会長の松本則子さん(人形劇団クラルテ所属)とは以前より旧知の仲であったこともあり、松本さんが会長となられたとき、私も副会長として共に運営に携わり今に至っています。

総会時、理事の皆さんから会長にというお声をいただいた際、協会ではできない、また協会らしい事業・運営を目指していきたいと思いました。新しく動き出すためには、理事・会員の皆様の協力が必要です。

岸和田文化事業協会と岸和田市の文化事業の更なる発展のために、今まで以上のお力をお貸しくさせていただきますようよろしくお願いいたします。

**略歴** 陶芸家で西念陶器研究所所長。  
1948年、大阪府岸和田市生まれ。  
15歳で陶芸家の加藤泥二氏に師事。  
1971年、西念陶器研究所を開設し、76年には轟窯を併設。  
陶邑古窯復興のため「泉州焼」のブランド化にも取り組み、  
また障害者自立支援のための陶芸活動も行っている。  
受賞歴は日本伝統工芸展入選ほか多数。

## 平成29・30年度役員名簿

役職	部 会	氏 名
顧 問		伊藤 伸史
会 長	企画展示部	西念 秋夫
副 会 長	〃	齊藤 憲子
理 事	〃	※赤井 裕子
〃	〃	武井 俊成
〃	〃	田中 幸子
〃	〃	近藤 利由
〃	企画舞台部	※宮前 勝代
〃	〃	小島 恵
〃	〃	池上 尚里
〃	〃	加藤 久美子
〃	〃	角野 芳子
〃	〃	佐々 由佳里
〃	〃	セルバンテス堺多恵
〃	〃	寺本 郁子
〃	〃	中村 八千代
〃	〃	橋野 澄子
〃	〃	藤間 勸史卯
〃	〃	松本 則子
〃	〃	山村 若代紀
〃	広報宣伝部	※小木曾 由季
〃	〃	本郷 元子
〃	〃	平瀬 有里
〃	〃	松浪 心込
〃	広報制作部	※小島 栄子
〃	〃	黒木 幸子
〃	〃	小末 元恵
〃	〃	西出 安廣
〃	〃	堀野 和人
監 事		吉垣内 利光
〃		松端 孝元

※部会長(各部会五十音順)

## 創意と発明の人

すぎえ おうこく  
杉江 櫻園



杉江櫻園は、明治13年に滋賀県大津市中京町にて出生。幼少より謡曲に親しんでおりました。長じて、京都の職分家（注1）大江竹雪に師事、門下生となりました。

明治36年に岡部長職公（岸和田藩第13代藩主）に召され岸和田に定住し、能楽愛好家であられた岡部公に謡曲の先生として仕えました。

岸和田入国250年を記念して能楽を催さんとされましたが、岸和田城内の能舞台は明治4年の廃藩置県の折に、泉佐野市の蟻通神社ありとおしに献納されてしまったので、岸城町の現在の地に舞台しまを設けられました。岡部公と櫻園の社中の協力により大正6年に建立しました。今年は丁度創建100年を迎えます。

櫻園は、当時としてはすごく斬新な考えを持った人でした。

古典芸能、謡曲・仕舞なるものは、口真似、見真似で習うものと決まっておりましたが独学出来るように本を出しております。

大正5年に「謡曲独習自在」を出版し、謡曲の節を横書き譜（要するに西洋音楽の五線譜）に表しました。一緒にレコードも出しており、聞きながらお稽古出来るように考えました。

専門的になりますが、謡曲のリズムは8拍子から成り立っており、これを独習出来るよう、組立

式の練習機材（注：左下写真）を考案しております。

音楽学の研究者・藤田隆則先生（京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター准教授）の著書「能のノリと地拍子」にも取り上げられています。

昭和2年には「仕舞独習」と題して、型を写真に撮り、謡の詩章の横に舞の型を記し、舞台を俯瞰して、線で軌跡（足を運ぶ道筋）を印しています。

能も五曲創作しております。

「水間寺」（昭和12年2月）「正高」（昭和13年4月）「牛滝」（昭和13年10月）「和泉の宮」（昭和14年4月）「鮎地蔵」（昭和16年5月）。すべて岸和田近辺を題材にした作品です。

今年の杉江能楽堂での催しは、創建100周年記念として4月の春の会に「鮎地蔵」を謡いました。10月の秋の会には「牛滝」を謡う予定です。

櫻園は他に、絵、書、作陶もたしなみ、創建時の舞台鏡板の松は自ら描いておりました。自作の能の謡本は自筆です。

自宅の裏に窯を造り、色々な作品を焼いておりましたが、能面も飾り用としてたくさん作っており、見所けんじょ（注2）の座敷にかけております。

昭和31年11月に没するまで、謡曲の師として過ごす傍ら、能に関する書物の制作、書画（雅号は楽阿弥）に親しみ自由自在な人生を全うしました。



注1：職分家：宗家以外にも、江戸期に各地の大名に仕えて能楽の技術指導を行ってきた由緒ある家柄が存在している。こうした家を職分家という。

注2：能楽堂の観客席。みどころ。

# 和太鼓 「とどろき轟」 細く長く緩やかに！ そして力強く！！



## ◆珍しい女性中心の太鼓サークルとお聞きしました。成り立ちを教えてくださいませんか？

岸和田には400年以上の伝統を誇るだんじり祭りがあり、笛や太鼓のひびきは子どもたちが幼い頃から慣れ親しんできました。

1983年、地域の中学校の生徒が定期的に城北保育所の園児たちにだんじり太鼓のリズムを指導。プロである“若駒”の本格的な演奏を見る機会にも恵まれ、その後5歳児保育の1つとして続いてきました。

1987年の夕涼み会でお母さんや保育所の先生たちが“鬼太鼓”を披露。この年に太鼓同好会を結成。

1990年、城北保育所の父母・職員・地域の方々を含めた有志が集まって太鼓サークルを作ろうと機運が高まり、太鼓サークル「轟」が結成されました。

2015年に和太鼓「轟」に改名しました。

## ◆練習はどのようにされてきましたか？

そもそも城北保育所の子どもたちの太鼓を見て、保護者と職員がその魅力にひかれて始めたのがスタートでした。指導者がいないので市民音楽祭などを目標に太鼓のビデオ（DVD）を見たり、講習会に行ってはみんなに伝えて取り組んだり、時にはプロの人に依頼して指導を受けオリジナル曲を作ってもらったりもしています。

最近は自分たちで曲を作ることに取り組み、色々なレパートリーの中みんなでお話ししながら進めています。

又サークルとして始めた時には、音の問題もあって練習場所を点々としましたが、今は新条地区公民館で思い切り音を出して練習ができるようになりました。

## ◆現在どのような太鼓がありますか？

特別、講師がいるわけでもなく太鼓も会費を積み立てて少しずつ増えてきました。

かつぎ桶5台、大胴4台、締太鼓6台、桶太鼓2台、太鼓台は費用の都合で手作りしたものもあります。

## ◆課題はありますか？

メンバーは口コミなどで増えてきましたが、それぞれの生活があり時間的にも集まりがバラバラで、全員の集合が厳しいときもあります。また長年やっている人と、はじめたばかりの人がいる中での練習の進め方など課題は多くあります。メンバーでの話し合いの時には、プロの先生にも相談して助言をいただき課題を乗り越える努力をしています。

## ◆今後の展望を教えてください。

自分たちが楽しいことが一番だと思っています。また演奏に行ったところで心を響き合わせ喜んでもらえることが私たちの喜びにもなります。昨年も25ヶ所以上で演奏をする機会をいただきました。来年度には初めて自分たちで企画した演奏会を予定しています。

これからも長く続けるために無理をせず、みんなでお話しして聞いてくださる方にも響く勇壮な音、演奏を目指して頑張っていきます。

\*\*\*\*\*  
迫力ある太鼓とダイナミックな動き、応援せずにはいられない和太鼓「轟」さんでした。

(取材文 小島 栄子)



Ichigo-Ichien

## ピアノ…

村瀬 昌恵

私は30代前半の時、小さい頃習っていたピアノを再開しました。岸和田の先生にお世話になり、弾きたい曲を家で時間がある時に練習して、年に1度か2度発表会に出してもらって楽しんでいました。

子育てが一段落して、趣味で弾いていたピアノをもう少し深めたい！頑張りたい！という気持ちが強くなり、46歳の時大阪音楽大学短期大学部ピアノ科に入学しました。

周りは私の子ども達と同じくらいの若い可愛い学生たちです。入学前は自分のピアノに自信がない事や体育や英語、音楽史などの授業についていけるのか、わからなくても聞く人もいないんだろうなど不安でいっぱいでした。けれどそんな不安もすぐなくなりました。家の事との両立はとにかく大変でしたけど、素敵なお仲間と励ましあって必死で頑張れました。

ピアノの事で泣いたり笑ったり。30歳近く離れた友達との関係は同士でありライバル、そして時には先生になっていました。悩みを聞いたり聞いてもらったり。無我夢中の2年間でした。

卒業後も一緒にコンサートに出たり、時々集まって音楽談義に花を咲かせたりしています。

人生の後半にこんなにキラキラした思い出ができた事は、一重に家族のお陰だと思っています。本当に感謝です。

この充実した経験と一緒に頑張った仲間は、今私の宝物になっています。



## 「みやこ書房」の思い出

松浪 心込



「みやこ書房」は、貝塚駅の東側に広がる海塚商店街の一角に在る老舗の古書店である。チェーン店に押されて街から古書店が消えていく今日において

も、同店は今でも健在な古書店である。

まだインターネットの無かった時代、知識や情報を得ることは即ち文献に当たることであったのだが、当時、地方衛星都市に住み学ぶ高校生だった私にとって、都心の大型書店や府立図書館は、金銭的にも時間的にもコストがかかって大変なことであった。

そんな私にとって、通学定期で途中下車して立ち寄れる古書店「みやこ書房」は、まさに低コストな情報源であったのだが、とりわけ大学生が不要になって手放した専門書やテキスト類は、高校生の私にとって格好の学問ガイドブックとなった。

今でこそ少子化による志望者獲得競争のため、様々な

メディアを通じて大学の方から高校生たちにアプローチしてくれる時代となり、少し検索するだけでいくらかでも情報が手に入る時代となったけれども、当時はそんな時代ではなかったため、一足お先に大学生の世界を垣間見せてくれた「みやこ書房」は、学問への情熱を醸成し、つらい受験勉強を乗り切るモチベーションを与えてくれる情報源だったのである。

そして、大学進学後の後日談なのだが――。

ゼミ選択や研究テーマの設定に差し掛かったころ「博物館学(museology)」という領域を研究したいと発言した時、様々な先生方から、

「松浪君、そんなマイナーな領域、良く知ってるね。箱根の山より西側でそんなこと言う学生は、君一人じゃないかな。」

と言われたのを、今でも鮮明に覚えている。

インターネットの無かった時代に、東京の一部の大学でしか学べなかったマイナーな領域に関する情報を授けてくれた「みやこ書房」――それは私にとって、単なる古書店に留まらない「知の源泉」とも言うべきものであったのだ。

# Event Report

アンケートからの**抜粋**

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。  
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

## 第50回自泉フレッシュコンサート

2017年4月7日(金)午後6時30分

\*入場者数:92人



アンケートからの**抜粋**

- ◆夏実さんのロッシェニの曲の世界観がすごく分かって引き込まれました。どの方も素敵な音楽を聴かせてくれて素晴らしいコンサートでした。
- ◆とてもフレッシュで美しい皆様の演奏会、実力がすごくてみずみずしい魅力がいっぱいでした。
- ◆早田さん良いですね。3曲味わいの違う曲を上手に弾きこなしておられたようです。とりわけシューマンのチャーミングな演奏に引き込まれました。
- ◆アンティークなホールで美しい音楽を楽しめました。豊かな時間を過ごせました。
- ◆小林さんは、あんなによく声が出るもんだなあと。早田さんは、指が奏でるピアノが本当にすごく素晴らしい。西村さんはすごすぎます。お声もそうですが情景も浮かび心の温かさを頂きました。素敵な時間をありがとう。
- ◆3人とも素晴らしかったですが、西村さんは鳥肌が立つほど素晴らしかったです。歌の世界に引き込まれました。
- ◆一つ一つの進行状況や一人一人の間隔が非常によかったです。

## だがつきスイッチコンサート

2017年5月28日(日)

①午前11時開演 ②午後1時開演

\*入場者数:90人



アンケートからの**抜粋**

- ◆心が豊かになりました。とても楽しかったです。またコンサートに参加したいです。
- ◆とても音がすごかったし、とても楽しかったです。
- ◆子供と一緒にコンサートに参加でき子供も楽しかったようです。私も気晴らしができて、とても良かったです。
- ◆とても楽しい時間を過ごせました。やっぱり打楽器は楽しいです。

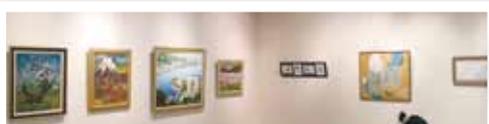
## 第3回 事業協会会員展

2017年6月2日(金)～6月4日(日)

\*入場者数76名

会員による絵画、書、陶芸、パッチワーク、魚拓などの展示を開催し、同時に5種類のワークショップも行いました。

- |  |           |
|--|-----------|
| 1、「自分で挽いたお茶を飲みましょう」                                | 講師:西念 秋夫  |
| 石臼で茶葉を挽き、抹茶にして西念会長にお薄を立てていただくという趣向で、多くの方が楽しんでいました。 |           |
| 2、「エレガントにストレッチ」                                    | 講師:平瀬 有里  |
| 3、「お箸入れとポチ袋作り」                                     | 講師:中野 豊子  |
| 4、「ちびっと人形劇」  | 講師:松本 則子  |
| 5、「羊毛フェルトで作るちっちゃなペンギン」                             | 講師:小木曾 由季 |



## 会員によるクラシックコンサート

2017年6月3日(土)

16:00から(総会終了後)

\*入場者数30人

総会開催時のイベントとして会員によるコンサートを開催、多彩な演奏を楽しんでいただきました。



### 第4回自泉Re.フレッシュコンサート ～羽ばたこう ふたたび～

演奏をしばらく休止していた方、他の仕事をしながら  
音楽を学んでこられた方、また子育ても終わり  
再度音楽の勉強を始めた方々によるコンサート

日時:平成29年8月19日(土) 午後6時30分開演  
会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者: 大江 彩 (ソプラノ) 村上 千佳 (ピアノ連弾)  
田中 光代 (ソプラノ) 堀田 晴香 (ピアノ連弾)  
芹澤 紀子 (ピアノ) 山名 美枝子 (ソプラノ)  
中村 聖美 (ソプラノ)  
古谷 陽香 (ソプラノ)

入場料:一般前売1,200円 (当日200円増)  
会員前売1,000円 (当日200円増)

### 晴ちゃんのおしゃべりコンサート Vol.2

今やテレビでもお馴染みの晴雅彦氏による  
コンサートと発声等のレクチャー

日時:平成29年9月22日(金)  
午後6時30分開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール  
出演者:晴 雅彦(大阪音楽大学教授)  
前川 裕介(ピアノ)

入場料:前売2,000円 (当日500円増)

### 第51回自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～

音楽を学び、プロフェッショナルとして歩み始めた  
新人演奏家によるコンサート

日時:平成29年10月13日(金)  
午後6時30分開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:未 定

入場料:一般前売1,200円 (当日200円増)  
会員前売1,000円 (当日200円増)

### 岸和田能 秋の名曲を観る会 能楽「天鼓」の上演とお話

日時:平成29年10月20日(金)  
午後7時開演

会場:杉江能楽堂

出演者:大槻文蔵他能楽協会大阪支部会員

入場料:前売3,500円 (当日500円増)

チケット発売日:会員8月29日(火)  
一般9月5日(火)いずれも午前10時より

※チケットを購入された方は、9月29日(金)午後6時30分から、  
自泉会館で行います「レクチャー教室」に参加できます。  
参加希望の方は事務局までお申し込みください。

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

## 文化情報

#### ●2017子どもえんげきさいinきしわだ

日時:平成29年8月4日(金)～8日(火)  
会場:岸和田市立浪切ホール各会場  
入場料:プロ作品 前売1,500円(当日500円増)  
アマチュア作品無料  
主催:子ども演劇祭in岸和田実行委員会  
問合せ:TEL072-437-3456

※詳しくは:<http://www.sozosha-net.jp/kishiwada-fes/>

#### ●夏休み特別企画Vol.4

～世界遺産への音楽旅～

日時:平成29年8月6日(日)  
①午後2時 ②午後6時  
会場:岸和田市立自泉会館ホール  
入場料:1500円(当日500円増)  
問合せ:角野 090-7872-3630

#### 出版情報

##### 図解住まいの寸法

暮らしから考える設計のポイント  
堀野和人・黒田史香 著  
日本建築協会 企画  
定価 2,600円+税

##### 櫛の浪漫

—「千年ブランド」和泉櫛—  
伊藤 伸史 著  
定価 1,300円+税

## 今後の事業予定

2017年	8月19日	第4回自泉 Re.フレッシュコンサート
	9月22日	晴ちゃんのおしゃべりコンサート Vol.2
	10月11日	講習会「利休と待庵」①
	10月13日	第51回自泉フレッシュコンサート
	10月20日	岸和田能 秋の名曲を観る会
	11月1日	講習会「利休と待庵」②
	11月3日	文化の日祝典記念コンサート(マドカ)
	11月23日	日帰り研修旅行「利休と待庵」
	12月1日	第52回自泉フレッシュコンサート
2018年	1月21日	邦楽コンサート
	2月	第7回自泉ジュニアコンサート
	3月	第11回フレッシュアップレミアムコンサート

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)

## 会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円  
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円  
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。  
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145  
加入者名 岸和田文化事業協会  
詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp



発行:岸和田文化事業協会  
発行日:2017年7月25日

◆事務局  
〒596-0073  
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内  
TEL/FAX 072-437-3801  
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 黒木幸子・小島栄子・小末元恵  
西出安廣・堀野和人

#### 編集後記...

木陰恋しい季節。私事で恐縮ですが「里山えんびつ」なる団体を立ち上げ、神於山をアートな山にしようと企画中。参加者募る(笑) (堀野)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/> 岸和田文化事業協会

検索